

議会議案第16号

北鎌倉隧道の早期通行再開を求める決議について

北鎌倉隧道の早期通行再開を求めることについて、次のとおり決議する。

令和3年（2021年）3月17日提出

提出者	鎌倉市議会議員	千	一
同	同	上	竹田 ゆかり
同	同	上	池田 実
同	同	上	中村 聡一郎
同	同	上	大石 和久
同	同	上	伊藤 倫邦
同	同	上	松中 健治
賛成者	同	上	くりはらえりこ
同	同	上	長嶋 竜弘
同	同	上	高野 洋一
同	同	上	高橋 浩司

## 北鎌倉隧道の早期通行再開を求める決議

令和2年(2020年)8月25日付で、山ノ内地区町内会協議会8町内会長から、「北鎌倉隧道の早期通行再開についての要望書」が議長宛てに提出された。

北鎌倉隧道については、平成27年(2015年)3月、専門機関による点検調査によって、大変危険な状況にある旨の点検結果が出たことを受け、本市は同年4月28日に通行を禁止した。

その後、市では、平成28年度(2016年度)に工法の検討を行い、開削工法から文化財的価値の保全と通行の安全を確保する方法に変更し、3案をまとめ、平成29年度(2017年度)から平成30年度(2018年度)にかけて、地形測量及び地質調査を行い、それらの調査結果を基に基本設計をまとめた。

こうした手順を踏んだことから、基本設計をまとめるまでに、通行禁止から4年近い時間がかかったとのことであるが、いまだ工事の着手には至らず、このままの状態が続けば、本年4月には通行禁止から6年が経過することとなる。

長きにわたり生活道路を奪われ、車の往来が激しい県道を迂回路として危険な通行を余儀なくされてきた地域住民たちは、既に我慢の限界に来ている。

これまでに市議会では、住民たちの真摯な声である、北鎌倉隧道の安全対策を早急に促すことを求める旨の請願を2件、早期通行を求める旨の陳情を1件採択し、繰り返し、住民代表の機関として執行部に訴えかけてきた。

地権者の合意を得なければ工事に着手することができないことは重々承知しているところであるが、理事者においては、地域住民が一日も早く、安全に当該地を通行できるよう最善を尽くすことを、改めて議会として強く要望する。

以上、決議する。

令和3年(2021年)3月19日

鎌 倉 市 議 会